

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 10月	
令和5年10月1日の推計人口	1,266,334人
世帯数	558,149世帯

参考：R2.10.1現在国勢調査総人口：1,312,317人、
世帯数：558,230世帯

1 推計人口

令和5年10月1日現在の推計人口は、1,266,334人で、前月（1,267,049）に比べ715人の減少となった。

人口増の市部はなかった。長崎市（△144）、諫早市（△119）、佐世保市（△101）、西海市（△50）、壱岐市（△49）、南島原市（△48）、対馬市（△47）、五島市（△37）、雲仙市（△35）、島原市（△32）、大村市（△30）、平戸市（△22）、松浦市（△19）の13市で減少した。

郡部では、時津町（113）、川棚町（8）の2町で増加し、新上五島町（△49）、長与町（△24）、波佐見町（△19）、東彼杵町（△7）、小値賀町（△5）、佐々町（△2）の6町で減少した。

自然動態は、出生数660人、死亡数1,580人で920人の減少、社会動態は、転入者数2,983人（県内転入を含む）、転出者2,778人（県内転出を含む）で、205人の増加となった。

2 世帯数

令和5年10月1日現在の世帯数は、558,149世帯で前月（558,085）に比べ64世帯の増加となった。

（注）

・異動人口推計＝R2国勢調査確定数＋住民基本台帳（転入、転出、出生、死亡）

【賃金・労働時間・雇用（30人以上）】 …… 8月

1人当たり現金給与総額	253,712円
対前月比	26.1%減少
対前年同月比	1.8%増加

1 賃金

8月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額は253,712円で、前月に比べ26.1%減少し、前年同月に比べ1.8%増加した。

現金給与総額を定期給与（きまって支給する給与）と特別給与（特別に支払われた給与）に分けると、定期給与は244,044円で、前月に比べ0.8%減少し、前年同月に比べ1.2%増加した。

特別給与額は9,668円で、前年同月に比べ、1,488円増加した。

2 労働時間

8月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は141.8時間で、前月に比べ3.2%減少し、前年同月に比べ1.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は131.9時間で前月に比べ2.8%減少し、前年同月と比べ、0.9%減少した。

所定外労働時間数は9.9時間で、前月に比べ8.3%減少、前年同月に比べ6.5%減少した。

3 雇用

8月の常用労働者数は206,266人で、前月に比べ、2.1%減少し、前年同月に比べ3.2%減少した。

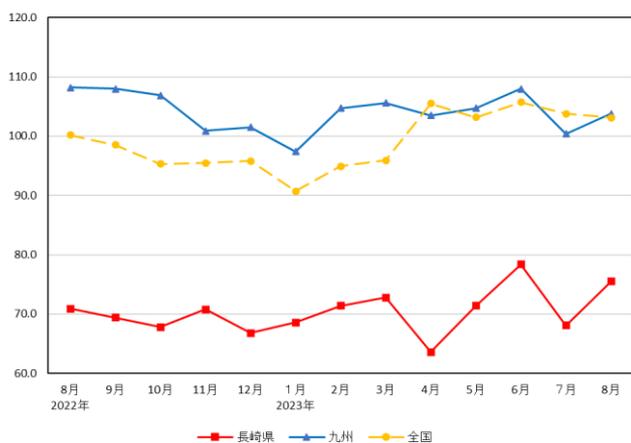
【鉱工業生産指数】……………8月

令和5年8月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数		原指数	前年同月比(%)
	調整済指数	前月比(%)		
長崎県	75.5	10.9	66.3	0.0
九州	103.8	3.6	97.8	△3.8
全国	103.1	△0.7	96.4	△4.4

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



2023年8月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が75.5で対前月比は10.9%の増、原指数は66.3で対前年同月比は0.0%と横ばいとなった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、はん用・生産用機械工業、繊維工業など8業種が上昇し、電気機械工業、窯業・土石製品工業、食料品工業など5業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	15.1	半導体集積回路
はん用・生産用機械工業	12.8	蒸気タービンの部品・付属品
繊維工業	4.1	織物製外衣

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△6.2	交流発電機
窯業・土石製品工業	△4.5	和飲食器
食料品工業	△1.3	その他の調味料

(注)前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………9月

総合指数(R2=100)	106.3
対前月比(%)	+0.1
対前年同月比(%)	+2.9

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年(令和2年)を100として、106.3である。

前月比+0.1%で、主な上昇要因は「食料」の+0.7%、「交通・通信」の+0.5%であり、主な下落要因は「教養・娯楽」の△1.6%である、「光熱・水道」の△0.8%である。

前年同月比は、5月は+3.2%、6月は+2.9%、7月は+3.3%、8月は+3.4%と推移した後、9月は+2.9%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は105.6で前月比△0.1%であり、前年同月比は+2.8%であった。

(前月との比較)

食料	0.7%
交通・通信	0.5%
住居	±0.0%
被服及び履物	0.3%
諸雑費	0.1%
教育	±0.0%
保健医療	±0.0%
家具・家事用品	△0.4%
光熱・水道	△0.8%
教養娯楽	△1.6%

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………9月

消費支出(一世帯当たり)	302,633円
前月比	82,126円減(21.3%減)

令和5年9月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は302,633円で、前月比21.3%の減、前年同月比は10.7%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は75.3%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。